

学生生活第一歩



新入生を代表し、壇上で宣誓する
佐々木さん—東北能開大青森校

東北能開大青森校

五所川原市の東北職業能力開発大学校付属青森職業能力開発短期大学校（伊勢崎浩之校長）は4日、同校体育館で入学式を開いた。新入生55人が、地域の発展を担う技術者になろうと第一歩を踏み出した。

新入生は生産技術科19人、電気エネルギー制御科12人、電子情報技術科24人。2年間かけて、ものづくりの専門知識、技能・技術の習得に取り組み。

伊勢崎校長は式辞で「常に学びの姿勢を持ち、自分で考え、納得し、次の課題へ進む。この繰り返しだが、

技術者の卵として社会に踏み出す源になる」と強調。その上で「きょうの志が夢でなく具体的な目標となるよう、日々研さんを重ねてほしい」と呼び掛け激励した。

新入生代表で、電気エネルギー制御科の佐々木あすかさん（青森北高校出身）は「豊かな人間性、高度な技能・技術を持った、ものづくりのスペシャリストになるため、日々、自己研さんに努めてまいります」と誓いの言葉を述べた。

同校は1984年の設置以来、製造業、情報通信業を中心に2700人以上の卒業生を輩出している。

（都築理）

※この画像は、当該ホームページに限って
東奥日報社が利用を許可したものです。